

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
H28	1	直方南	国道 市道	200号 丸山町2号線	歩道が狭く、危険。	対策中	歩道整備・道路改良
H29	1	新入	県道	直方鞍手線	歩道が狭くなっている箇所がある。	対策中	歩道整備・道路拡幅
H30	1	植木	市道	植木100号線	人通りが少なく、不審者情報有り。	対策検討 ソフト対策	防犯カメラ設置 警察によるパトロール
H30	2	植木	県道	中間宮田線	変則交差点のため危険(都市計画道路未整備)。	対策中	交差点改良・バイパス 整備
R01	1	植木	市道	吉野・天神線	グリーンベルトはあるが、交通量が多く、道幅 が狭く危険である。	対策中 ソフト対策	歩道整備 学校からの交通指導
R01	2	植木	県道	直方宗像線	交通量が多いが、歩道が途中までしかない。	対策中	歩道整備

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R02	1	感田	市道	稗田・行常線	横断歩道がない。市営住宅側からはカーブして いて見通しが悪い。	対策中 ソフト対策	道路整備 学校からの交通指導
R03	1	直方北	市道	上老良・我孫子線	J R 直方駅から県道福岡直方線に接続する路線 であり、車の交通が多く歩道の幅員が狭小であ る。また、居立川の老朽化により陥没の恐れが あり、通学者歩行者及び通行車両が危険な状態 である。	対策中	歩道整備
R03	2	直方北	市道	知古一丁目1号線 知古3号線	1級市道知古・感田線に接続しており車の交通 量が多い。また片側に歩道が設置されていない ため危険である。	対策済	歩道設置
R03	3	感田	市道	赤熊・野口線 高板・内ヶ磯線	横断歩道があるものの、一部消えかかってい る。交通量が多く危険である。	対策検討	標識設置

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R03	4	中泉	市道	中泉61号線	路側帯がなく、歩道がはっきりしない。	対策中 ソフト対策	道路整備 学校からの交通指導
R04	1	直方南	国道	国道200号	横断歩道の白線が、薄くなっている。	対策予定	横断歩道の塗直し
R04	2	感田(一部直方東)	県道	直方水巻線	交通量が多い道路であるが、歩道が狭く自転車通行帯もなく危険な状態である。	対策中	歩道の設置・拡幅
R04	3	下境	市道	武谷線	車通りが多く、車速が高い。途中まで歩道用の路側帯がカラー（グリーンベルト）になっているが、途中からなくなっている。また、「学童注意」「スピード落せ」の表示が薄くなっており見えにくい。	対策済 ソフト対策	路面表示の塗直し 通学路の変更、教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R04	4	直方東	国道	国道200号	交通量が多い交差点であり歩行者、自転車のルートが不明瞭なため危険な状態である。	対策中	歩道設置・拡幅、交差点改良

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R04	5	直方東	国道	国道200号	交通量が多い道路であるが、歩道が狭く危険な状態である。	対策中	歩道の設置・拡幅
R04	6	感田	市道	感田205号線 感田197号線 製鉄団地線	グリーンベルトが途中からない。（浄福寺幼稚園周辺） グリーベルトが塗装されていた所も消えかかっている。わかりにくくなっている。	対策検討 ソフト対策	路側帯のカラー舗装化 ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R05	1	直方南	市道	上老良・我孫子線	横断歩道の白線が消えかかっている。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R05	2	直方南	市道	新町二丁目2号線	道幅が狭くライトも薄く、トンネルの中を通る 児童の姿が見えにくく危険である。	対策検討 ソフト対策	トンネル内電球等増灯 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R05	3	直方西	市道	山部60号線	通学路ではあるが、歩道がない。道が狭いのに スピードを出す車が多い。高校生の自転車とすれ違うとき、避ける所がない。	対策検討 ソフト対策	路側帯の設置、グリーンベルトの設置 交通安全教育の充実
R05	4	新入	市道	上新入114号線	①通行する児童が多く、バスも通り、交通量も 多いため、路側帯のカラー舗装化が必要。また、路側帯の一部が側溝の蓋となっており、段差があるため、児童が歩行しづらい。路側帯の整備が必要。②通学する児童が多いので、通学路の標識（黄色ひし形）が必要。	対策検討 ソフト対策	路側帯のカラー舗装化 児童への適宜指導
R05	5	新入	県道	直方鞍手線	交通量が多いため、横断歩道が途中から消えている。	対策予定	横断歩道の塗直し

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和７年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R05	6	福地	県道	田川直方線	上境地区からの登下校中、田川直方バイパスの上境交差点が危険である。交通量も多く、スピードを出す車が往来していて、車の風圧で帽子が飛ばされることもある。信号待ちの歩道が狭く、限界まで後方に下がって待つよう保護者は声かけをしている。	対策検討 対策予定 ソフト対策	路肩の拡幅 横断歩道の塗直し ボランティア等による 立ち番指導等
R05	7	福地	市道	福地線	永満寺橋から、畑方面への通学路について、永満寺橋付近は片側にしか歩道がなく、横断歩道を渡って歩道を通っている。ところが、先へ進むと歩道がなくなり、今度は反対側に歩道がある。そのため、途中から反対側に横断しなければならないが、横断歩道がないため、渡る際に危険である。さらに、渡ってしまっても、畑方面へ行くには、再度横断歩道のない道路を渡る必要があるが、電柱付近になると通行できなくなる。	ソフト対策	ボランティア等による 立ち番指導等、交通安全教育の充実
R05	8	植木	市道	植木144号線	車両通行禁止時間帯が１６：００～１８：００となっているが、１６：００前には児童の下校時間帯と重なり、危険である。	対策検討	道路標識規制時間帯の変更
R05	9	植木	県道	中間宮田線	横断歩道の白線が消えかかっている	対策予定	横断歩道の塗直し

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R05	10	植木	市道	植木111号線	通学路の標識が歪んでおり、落下する可能性がある。	対策予定	道路標識の取換え
R05	11	直方東	市道	頓野66号線	グリーンベルトの区間であるが、そもそも幅が非常に狭い上、草木が歩道にはみ出しており、車道にでないと歩くことができないため、非常に危険である。グリーンベルトの色も、ほとんど見えなくなっている。	対策検討	警戒標識・路面表示の設置、グリーンベルトの塗直し
R06	1	直方北	県道	直方芦屋線	歩道の点字ブロックが破損やはがれているため、でこぼこしている。歩行するのに危険である。	対策予定 ソフト対策	点字ブロックの整備 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	2	直方北	市道	下原田・川久保線	横断歩道の白線が消えている。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	3	直方北	市道	須崎町12号線 日吉町11号線	道幅が狭く、グリーンベルトの設置を要望。	対策済	路側帯のカラー舗装化
R06	4	直方北 直方三中	市道	感田2号線 知古4号線	道幅が狭く、グリーンベルトの設置を要望。	対策検討	路側帯のカラー舗装化

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R06	5	直方北 直方三中	市道	感田2号線	道路に沿って、農業用用水路がある。蓋が無い ため、すべったり、躓いたりすると、落ちてし まう可能性がある。	対策検討 ソフト対策	防護柵・蓋の設置 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交 通安全教育の充実
R06	6	直方西	県道	福岡直方線	横断歩道の片側車線の塗装がほぼ消えていて危 険である。	対策予定	横断歩道の塗直し
R06	7	新入	市道	旧軌道線 外町・御館山線	登下校する児童の人数は多いが車の通りも多 い。中央線が消えて見えない。路側帯ブロック はあるが、草が生え、よく見えない場所もあ る。また、夜間は路側帯が目立たないため、危 険である。路側帯の草を刈り、色をつけたり反 射板等をつけたりして、夜でも目立つようにす る必要がある。	対策中 ソフト対策	中央線・外側線の塗直 し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交 通安全教育の充実
R06	8	感田	市道	赤熊・野口線	道幅が広く、交通量の多い道路を横断する際 に、横断歩道が無く、登下校の際に危険な状況 となっている。また、通行する車両は、道路の 幅が広いため、かなりスピードを出して走行し ているので、注意喚起の表示などが必要であ る。	対策中 ソフト対策	横断歩道の新設、「ス ピード落とせ」等の車 道への注意喚起 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交 通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R06	9	感田	市道	感田二号線	道路が狭く、車の通行があるが、グリーンベルトが途中から無い。	対策検討 ソフト対策	路側帯のカラー舗装化 交通安全教育の充実
R06	10	感田	国道	国道200号線	横断歩道があるものの、一部消えかかっている。交通量が多く、危険である。	対策予定	横断歩道の塗直し
R06	11	感田	市道	湯野原11号線	横断歩道があるものの、一部消えかかっている。交通量が多く、信号機がないため、車との接触が予想され大変危険である。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	12	感田	市道	製鉄団地線	車道に印字されていた注意喚起のための文字や一時停止の線が消えて見えにくくなっている。	ソフト対策	交通安全教育の充実
R06	13	感田	市道	感田100号線	電柱に表示してある通学路注意の札が劣化し目立たなくなっている。横断歩道の周辺が緩やかなカーブで見通しが悪い。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R06	14	上頓野	市道	頓野22号線	道幅が狭く、カーブのためガードレールが設置されているが、途中で切れていて、自動車と児童が接触する可能性が高い。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	15	上頓野	県道	直方行橋線	車の交通量が多い三差路で、カーブになっているため見通しが悪い。児童がその横断歩道が無い道路を横切るのは危険すぎる。	対策検討	横断歩道の新設
R06	16	上頓野	県道	直方行橋線	緩やかな坂道のため、スピードが出やすい道路である。点滅信号が付いているが、児童が横断する際の安全確保ができていない。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	17	下境	県道	田川直方線	主要道路のため車通りが多く、車速が高い。歩行者用の横断歩道のラインが薄くなっていて、歩行者にも運転手にも見えづらい。	対策予定 ソフト対策	横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R06	18	福地	市道	上境54号線	新1年生を含めた児童が横断歩道のない道路を渡って登校する状況である。見晴らしの良い直線道路であるが、そのため、通行車両もスピードが出ている場合もある。通学路標識はある。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R06	19	福地	市道	上境54号線	新1年生を含めた児童が歩道もガードレールもない道路を歩いて登校する状況である。見晴らしの良い直線道路であるが、そのため、通行車両もスピードが出ている場合もある。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	20	中泉	市道	中泉62号線	道幅が狭く、自動車が離合する場合はぎりぎりの状態である。幹線道路の迂回路になるため、特に児童の登校時には多くの自動車が往来している。トンネルの中とそこに続く道には路側帯がないため、児童や自動車に歩行場所の注意を促すためにも、路側帯のカラー舗装化と学童注意などの標識の設置を要望する。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化
R06	21	植木	市道	下新入・植木線	横断する児童が多いが、横断歩道がなく、児童が登下校する際に危険である。	対策検討	横断歩道の新設
R06	22	直方東	市道	頓野83号線	一時停止が無いため、車がスピードを出して歩道に進入している。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R06	23	直方東	市道	宮ノ前・頓野団地線	頓野畠中交差点から直方東小前歩道橋までの間に横断歩道が無いため、その途中で横断する姿が多く見られる。特に「くすりのミヤタ」から「スーパー新選組」付近で横断が見られ危険である。	ソフト対策	交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R06	24	直方東	市道	出山・浦田線	横断歩道及び停止線が消えかかっている。	対策予定	横断歩道の塗直し
R06	25	直方北 直方三中	市道	新知町1号線	新入小学校区や直方西小学校区から登下校する生徒が新正橋を通り、階段を利用した場合、階段下の道路を渡るための横断歩道などが無く、通行量も比較的多いため、生徒の登下校時に車との事故の危険性が高い。	ソフト対策	教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R07	1	直方北	市道	日吉町2号線	前、後ろから車が通る。道幅が狭く、車をよけられない。スピードをだしているので危ない。横断歩道を設置してほしい。	ソフト対策	交通安全教育の充実
R07	2	直方北	市道	知古一丁目1号線	前、後ろ、右、左から車が通る。歩道がなく、交通量が多いため危険である。減速するように注意を喚起する標識、表示等をお願いしたい。通学路に沿って横断歩道を設置してほしい。	対策済 ソフト対策	警戒標識・路面表示等の設置 交通安全教育の充実
R07	3	直方西	県道	福岡直方線	下水道工事のため、アスファルトが剥がされ、工事後に掘った箇所を修復しての繰り返しである。学校前の横断歩道も半分消えてしまっている。また、運動場前の横断歩道も剥がれている。児童が最も利用する横断歩道であるので、早急に塗装をお願いしたい。	対策予定	横断歩道の塗直し

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R07	4	直方西	県道	福岡直方線	横断歩道の塗装が剥がれてきている。車の往来が多く、登校時は交通ボランティアの方が立ってくださっている。横断歩道が見えにくいことは大変危険である。	対策予定	横断歩道の塗直し
R07	5	直方西	県道	福岡直方線	横断歩道の片側車線の塗装がほぼ消えていて危険である。	対策予定	横断歩道の塗直し
R07	6	新入	市道	旧軌道線 外町・御館山線	道路の中央線が途中から消えて見えないため、車のはみ出す危険がある。また、歩道及び路側帯との境界線も途中から消えて見えないため、登下校している児童に車がぶつかる可能性もある。	対策済 ソフト対策	中央線・外側線の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実
R07	7	感田	市道	赤熊・野口線	横断歩道を渡ったところにあるガードパイプの一番端の根本付近のアスファルトが割れて崩れているため、児童が落下する可能性がある。	対策済 ソフト対策	崩れた道路の補修 交通安全教育の充実
R07	8	感田	市道	赤熊・野口線 高板・内ヶ磯線	阿高神社付近の横断歩道の線や止まれの文字が消えかかっており、車が認識しにくい状態になっている。	対策予定 対策検討 ソフト対策	横断歩道の塗直し 道路標示の塗直し 交通安全教育の充実
R07	9	感田	国道	国道200号線	小野牟田池方面の通学路として新しく許可をしていきたいが、横断歩道がないため、児童が国道200号線を横断することができない。行常交差点のかつき脳外科側に信号のある横断歩道が必要である。	対策検討 ソフト対策	横断歩道の増設 交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号 小学校名		箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R07	10	上頓野	市道	上頓野78号線	道路わきの段差が大きく、ガードレール等がないため、転落の危険がある。	対策検討	ガードレールの設置
R07	11	上頓野	市道	上頓野78号線	道路わきの段差が大きく、ガードレールが途切れているため、転落の危険がある。	対策検討	ガードレールの延長
R07	12	上頓野	市道	藤田丸線	道路幅員が狭く、歩道が十分に確保されていない。朝夕の通学時間帯は交通量も多く、児童が自動車と接触する危険性が高いことを懸念している。保護者や地域住民から「ヒヤリとする場面が頻発している」との声が寄せられている。今後「再資源化事業」に伴い、交通量が増えると、危険性がますます増大するものと思われる。	対策検討 ソフト対策	路側帯のカラー舗装化 交通安全教育の充実
R07	13	下境	市道	福地線	バス通りのため車通りが多く、車速が高い。歩道用の横断歩道の色が薄くなっている。また、道路上の減速のマークの色がはげ、文字が不明瞭で分かりにくい。	対策予定 対策検討 ソフト対策	横断歩道の塗直し 路面表示等の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R07	14	中泉	市道	中泉62号線	道幅が狭く、見通しが悪い。四方から自動車が走行。歩行者から見ると、左右の道路から自動車がきていることが分かりにくい。また、横断歩道のラインも消えかかっており、安全配慮のある交差点とは言えない。	対策予定 対策検討 ソフト対策	カーブミラーの調整 警戒標識・路面表示等の設置 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R07	15	植木	県道	筑前植木停車場線	点滅信号はあるが、停止線がない方向がある。 家の塀が高いため、車側からも歩行者側からもお互いが見えづらい。	対策中 ソフト対策	路面上に「止まれ」設置 ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R07	16	植木	市道	植木123号線	用水路と道路の境にガードレール等がないために落水する恐れがある。	ソフト対策	防護柵の設置 ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R07	17	植木		JR福北ゆたか線上の歩道橋（植木駅付近）	老朽化している。	対応検討 ソフト対策	歩道橋の老朽化対応 通学路の変更、交通安全教育の充実
R07	18	植木	県道	中間宮田線	県道を法定速度以上で走行している車がある。 車から見て、歩行者が見えにくい。	対策予定	道路改良
R07	19	植木	市道	植木108号線	道が細くて、車が急に出てくる。車が来るかわかりづらい。歩行者道路に車が停まっていて歩行者が危ない。	ソフト対策	交通安全教育の充実
R07	20	植木	市道	植木106号線 植木111号線	車の通行が多く危険。	対策予定 ソフト対策	警戒標識・路面表示等の設置 ボランティア等による立ち番指導等、交通安全教育の充実
R07	21	植木	市道	植木117号線	細い道から多くの車が出てくる。家の塀で見通しが悪い。	ソフト対策	交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R07	22	直方東	市道	宮ノ前・頓野団地線	市道沿いにある歩道の両サイドから雑草が伸びており、児童の上半身までの高さになる。児童の多くは、草が体に接触し、痒くなるのを嫌がり、草をよけるために、車道に逃げるように歩き、大変危険である。安全指導を繰り返しているが、地域や保護者から、指導依頼や苦情が相次いでいる。地域の方の多くも、同様に車道を歩いている中、児童だけに歩道を歩く指導を徹底することは難しい。これは、毎年のものであり、直方市役所に草刈りの依頼をしているが、対応が間に合っていない状況である。そのため、昨年度も校長をはじめ職員数名で数日間にわたり草刈り、撤去作業を実施した。そこで、雑草が生えないような根本の対策をお願いしたい。	対策予定	歩道の舗装整備
R07	23	直方三中	市道	知古一丁目1号線	朝、登校時は多数の生徒が通行して登校している。歩道は片側しかなく、生徒は歩道を密集して歩いている。そのため、自転車通学生徒は車道を通行しているが、朝の通勤時の車の通行量は多く、スピードも早いため、接触等の危険性が高い。また、点滅信号のところにある横断歩道の白線が消えているところがあり、車の運転者からは横断歩道が確認しづらい状況である。	対策済 ソフト対策	歩道の設置、横断歩道の塗直し 教職員による危険箇所の巡回指導の強化、交通安全教育の充実

直方市通学路交通安全プログラム

危険箇所一覧（令和7年度以前）

年度	整理 番号	小学校名	箇所(位置図等別紙)		危険な状況の説明	対応状況	対策内容
			道路 種別	路線名			
R07	24	下境	国道	国道200号線	横断歩道の白線が消えている。 横断前待機場所に車の侵入を防ぐポール等の設置がない。		
R07	25	下境	国道	国道200号線	横断歩道の白線が消えている。 横断前待機場所に車の侵入を防ぐポール等の設置がない。 歩道と車道の間にガードレールが設置されていない箇所がある。		
R07	26	中泉	市道	中泉62号線	横断歩道等の白線が消えている。		